特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン

軽量・準速硬性一材型ポリマーセメントモルタル

一材型 EG タイプ

フィックスLS・EG

（ライトスペシャル・一材型イージータイプ）

フィックスLS・EGは、速硬性セメント、軽量骨材、耐アルカリ性ガラス繊維を主体とした無収縮性無機質材料に、アクリルカチオン系特殊粉末樹脂を配合したプレミックスタイプの軽量・準速硬性一材型ポリマーセメントモルタルです。

特　長

- **作　業　性**　オールプレミックスタイプのため、現場では適正量の水を加えて練り混ぜるだけで使用できます。
- **厚　付　性**　繊維や特殊混和材を配合していることでダレ難く、天井部であっても1層20㎜程度の厚付けが可能です。
- **施　工　性**　粉末樹脂のベタツキを抑え、コテ伸びやコテ離れに優れています。
  粒度調整により、薄塗りは3㎜程度から施工可能です。
  また、吹付施工も可能にしています。(別途資料参照。詳細は営業担当にお問い合わせ下さい。)
- **ひび割れ抵抗性**　乾燥収縮・水中での膨張を抑制することで寸法安定性に優れているためひび割れ抵抗性を有します。
- **接　着　性**　アクリルカチオン系特殊粉末樹脂を配合していることでコンクリート下地への接着力に優れています。

用　途

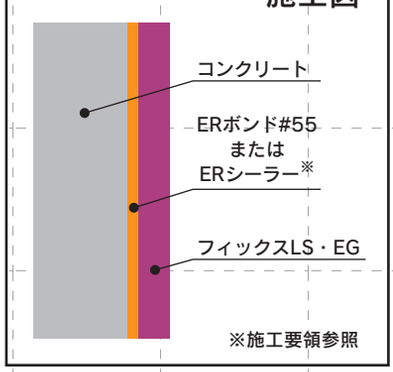
- コンクリート構造物（天井・壁）の欠損部断面修復

配合及び材料使用量

フィックスLS・EG

配　合	粉体	15kg
	水	3.0～3.4kg
使用材料量(kg/㎡) 塗り厚別	5㎜	6.60
	10㎜	13.20
	20㎜	26.40
	30㎜	39.60
	50㎜	66.00
練上り量		11.36ℓ
積算比重		1.320
1㎥使用量		1.320kg (88袋)

施工図



○荷　姿　粉体　15kg



ERボンド#55［新旧打継用エポキシ系接着剤］

主　剤	水	硬化剤	㎡使用量	施工面積
15.0kg(5)	6.0～9.0kg(2～3)	3.0kg(1)	積算 0.15～0.2kg	90～120㎡
3.0kg(5)	1.2～1.8kg(2～3)	0.6kg(1)		18～24㎡
1.0kg(5)	0.4～0.6kg(2～3)	0.2kg(1)		6～8㎡

○荷　姿　・1.2kgセット　・3.6kgセット　・18kgセット



ERシーラー［新旧打継用エマルジョンプライマー］

ERシーラー	水	㎡使用量	施工面積
18kg(1)	27kg(1.5)	水希釈液0.2kg (積算0.08kg)	225㎡
4kg(1)	6kg(1.5)		50㎡

○荷　姿　・18kg缶・4kgポリ容器入り



EREWHON

施工要領

1．下　地　処　理　脆弱部や付着物の除去、亀裂処理等断面修復材の性能が低下しないように充分な下地処理を行う。

2．プライマー塗布　下地とフィックスLS・EGとの接着を高めるため、プライマー（ERボンド＃55）を塗布する。
フィックスLS・EGの塗り継ぎ時も同様に、プライマーを塗布する。はつり面および2層目以降の塗り継ぎはERシーラーを使用することもできる。

3．混　　練　規定量を計量し、ハンドミキサーやモルタルミキサーで混練する。
混練時間はミキサーの種類や回転数、混練量などに応じて適宜調整する。ハンドミキサーで混練する場合の目安は、必要水量を容器に入れ、粉体を分けて投入する方法により１～２分程度（低速ミキサー）。モルタルミキサーで混練する場合の目安は２～３分程度（低速ミキサー）。
※練り始めは、配合された粉末樹脂が再乳化するまでに時間がかかるため硬い性状を示しますが、粉末樹脂が再乳化すると水を追加しなくても軟らかい性状を示します。

4．塗　り　付　け　ERボンド＃55の場合はタック（糸を引くような粘り）を生じたことを確認し、ERシーラーの場合は指触乾燥したことを確認し、フィックスLS・EGを塗り付ける。深い凹部がある場合は、先にその部分を充填する。薄く（5㎜程度）シゴキ塗りした後、所定の厚みに塗り付ける（1度の厚みは最大20㎜、1日最大40㎜）。
モルタルの締まり状態を確認し、適宜にコテ押さえを行う。

5．養　　生　直射日光や風雨を避けて1日以上養生する。

性　能

項　目	材齢	試験結果	試験方法
圧縮強度（N/㎟）	1日	17.2	NEXCO断面修復材料(左官工法)
	7日	24.8	
	28日	34.9	
曲げ強度（N/㎟）	1日	3.2	NEXCO断面修復材料(左官工法)
	7日	5.3	
	28日	7.3	
接着強度（N/㎟）	7日	2.1	建研式､温度20℃､ERボンド＃55使用
	28日	2.3	
硬化収縮率（%）	28日	0.04	NEXCO断面修復材料(左官工法) 硬化収縮性試験方法
熱膨張係数（/℃）	28日	1.3×10^{-5}	NEXCO断面修復材料(左官工法) 熱膨張性試験方法
静弾性係数（kN／㎟）	28日	15.6	JIS A 1149 (コンクリートの静弾性係数試験方法)
透水量（g）	28日	1.5	JIS A 1404 (建築用セメント防水材試験方法) 水圧及び時間:0.3MPa×1時間
表面水分量（%）	3日	6.5	高周波容量式水分計 塗り厚20㎜:温度20℃
	7日	4.8	

注）上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

●本資料について

- 本資料の技術情報は、公的機関および当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。
  しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- 既存下地・施工環境・気温と様々な施工上の問題がありますので、ご使用の際は弊社営業担当へご相談下さい。

●使用上の注意

- ご使用に際してはSDS（安全データシート）をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- 製品は直射日光、湿気を避け5～35℃で保管して下さい。
- 防錆仕様の場合は、1袋につき400gのアルカード（亜硝酸リチウム水溶液）を配合して下さい。
- 低温時、施工、養生中に5℃以下が想定される場合は、凍害防止のため採暖を行って下さい。
- 高温時、練上がり温度は35℃以下（望ましくは30℃以下）になるように冷水等で調整して下さい。
- 長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- 混練にアルミ製の羽根は使用しないで下さい。
- 混練水は水道水水質と同等のものを使用して下さい。不純物が硬化時間等に影響することがあります。
- 一度混練した材料の練り返しはしないで下さい。
- 一旦開封した製品は、即日使い切って下さい。
- 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

代理店

特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社

EREWHON

https://erewhon.co.jp

●本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町１－２－２３	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
●いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平３０－３	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大阪支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原５－１－３	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
●福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤１－９－１０	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
●関東支店	〒224-0003	神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-13-3F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
●仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町６－２	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
●名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋市守山区小幡南３－５－２１	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
●札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂５条３－２－３２	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
●新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島１－１０－２３	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
●静岡営業所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原７４３－１－１F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
●北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町２－１１－２５	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合２－４１－２２	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
●熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山２－１４－４７	TEL (096) 237-6557	FAX (096) 388-6227
●鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原１－５１－２５	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
●㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜５２２６－１３	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
●㈱エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町１４５０－６	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230